

事業概況

(2012年3月1日～2013年2月28日まで)

1. 全般的概況

当事業年度における日本経済は、東日本大震災後の復興需要等を背景に緩やかな回復基調で推移し、政権交代後は新政権が打ち出す各種経済対策への期待感から、株価も回復の兆しが見られました。住宅市場においては、住宅の安全・安心、エネルギー問題への関心の高まりや、太陽光発電システムの補助金制度など、政府の住宅取得支援策が後押しとなって新設住宅着工戸数は緩やかに改善しました。また、消費税増税を前提とした住宅ローン減税の拡充や相続税課税強化等が盛り込まれた税制改正大綱が打ち出され、今後の需要拡大が期待されています。

このような経済状況の中で、当社は健全で磐石な経営基盤の構築を目指し、準耐火建築物不適合問題の対応と、大幅な投資を行いました。具体的には下記の通りです。

- (1) 準耐火建築物不適合問題への対応と、品質管理課の新設など管理体制の再構築
- (2) 新規展示場の開設(5箇所)と既存展示場の改修(15箇所)
- (3) 建築系を中心としたキャリア人材(中途採用)の重点実施(239名)
- (4) 新規学卒者の積極採用(97名)

当社はこの時期にあえて投資を行いました。現在は無借入、自己資本比率30%以上を維持しており、次年度以降の利益拡大に寄与するものと考えます。

以上の結果から、当該事業年度の営業成績については、売上高は、36,803百万円(前期比2%増)営業利益286百万円(前期比86.9%減)、経常利益は437百万円(前期比81%減)、当期純利益は8百万円となりました。

2. 事業別概況

1) 住宅建築事業部門

新規展示場出展による事業エリアの拡大によって受注棟数は大幅に増加しましたが、準耐火建築物不適合問題への対応や、品質管理課の新設など管理体制の構築を最優先したことにより、完工棟数は微増となりました。この結果、当該部門の売上高は35,821百万円(前期比2.6%増)となりました。

2) 工務店支援事業部門

工務店へのノウハウ提供及び工務店ネットワーク「ジャーブネット」の運営を行う工務店支援事業では、会員グループによる「地域型住宅ブランド化事業」採択への支援、セミナーなど情報共有の場の提供、継続的な共同仕入商品の拡充など積極的に活動してきました。また、2年目を迎えた支援サービス「永代ビルダー塾」は、前年から20社増の30社が参加しています。しかし、会員数においては景気低迷の影響などから減少し、当該部門の売上高は982百万円(前期比15.3%減)となりました。

損益計算書

	2011年度 (2012年2月期)		2012年度 (2013年2月期)	
	金額	%	金額	%
売上高	36,066	6.7	36,803	2.0
営業利益	2,189	5.7	286	86.9
経常利益	2,300	3.5	437	81.0
当期純利益	1,313	5.6	8	99.4

(金額は百万円未満切捨て表示、%表示は対前期増減率)

新商品の発表、新規展示場の出展による事業エリアの拡大によって、売上高は前期比2.0%増の売上高36,803百万円となりました。新展示場の出展とそれに伴う人材確保などの積極的な投資と、準耐火建築物不適合問題への対応や品質管理体制の刷新を行った結果、営業利益は286百万円、経常利益は437百万円、当期純利益は8百万円となっています。

受注・完工棟数

	2011年度 (2012年2月期)		2012年度 (2013年2月期)	
	棟	%	棟	%
受注棟数	1,523	4.7	1,946	27.8
完工棟数	1,504	3.7	1,548	2.9

(%表示は対前期増減率)

貸借対照表

	2011年度 (2012年2月期)		2012年度 (2013年2月期)	
	金額	%	金額	%
資産計	15,803	0.9	17,836	12.9
負債計	10,030	12.4	12,426	23.9
純資産計	5,773	28.3	5,410	6.3

(金額は百万円未満切捨て表示、%表示は対前期増減率)

資産計は事業エリアの拡大や受注増に伴う仕掛物件の増加により、17,836百万円となりました。負債計も仕掛物件増加に伴う発注増や工事前受金の増加により、12,426百万円となりました。また、純資産計は持株会社設立に伴う株式移転処理や配当の影響で5,410百万円となっています。

2012年3月、当社を含めたグループ会社(株式会社アキュラランドインフォメーション、株式会社エポシステム、株式会社オカザキホーム)全体の企業価値向上を目指して、「株式会社アキュラホールディングス」を設立し、持ち株会社体制へ移行しました。これにより、次世代の経営層の発掘、戦略と事業の分離による機動的な経営、事業会社の経営責任を明確化していきます。

当社は2012年度の経験からホームビルダーの責任の重さをあらためて認識し、2013年度基本方針を「自信と信頼の創造」としています。品質管理体制の構築と人材育成の強化を図り、建築業(製造・販売)に留まらない暮らしのトータルサービスに取り組み、お客様の様々なご要望にお応えできる信頼のブランドを確立していきます。また、お引渡し後もアフターサービス「永代家守り」活動を軸に、お客様との関係を維持・強化していきます。